

2017 年 第 1 回 JMRC 中部ラリー部会 議事録

開催日時：2017 年 1 月 14 日

開催場所：鈴鹿サーキット

出席者(順不同)：香川、宮前、鮫島、坂口、船木、安藤、松浦、田中(記)
浅井

1 チャレンジクラス

【アイテナリーについて】

- ・ エントラントにヒアリングした結果、チャレンジでもより長い距離を走りたいとの要望が強く、JMRC ラリー部会としては行程について、チャンピオンクラスと同等、もしくは従来よりも延ばすことができないか主催者に相談していく。部会としては一意的な定義はせず、最終的には主催者の判断に委ねる。

【サービスについて】

- ・ サービスの支援についても積極的に主催者
- ・ JMRC 側から支援を申し出る
- ・ 主催者会議の中で、斡旋について依頼・議論していく。

【規定について】

- ・ 前年度のルールを継続し、ルールの疑問点は主催者と検討する。

【クラス区分について】

- ・ クラス分けについては、現状参加台数が少ないためクラス区分はしない(1クラスのまま)。今後、参加台数が増えて来たら(10 台前後)、別途検討する。
- ・ 但し、ラリー振興という意味において、エントリーが増えるように JMRC としても取り組んでいく。

2 チャンピオンクラス

【共通規則・シリーズ規則について】

- ・ 中部・近畿それぞれに規則書があるのは分かりづらいので、シリーズとして統一していきたい。(規則書はフォーマットを含めて近畿と横並びにできないか検討)
- ・ JAF 地区戦は近畿と合同であることを考えると、近畿と横並びの規則が判りやすいのではないかと。→ 今後、近畿側とも相談していく。

【タイヤ規制について】

- ・ 次回のラリー部会までに各員が案を持ち寄って話し合い、近畿と話し合う。
→2017 年にはもう間に合わないのだから 2018 年からのルールの検討。

【主催クラブ代表者との意見交換について】

- ・ チャレンジシリーズ規則の草案(SS 距離等含む)を 1 月末頃にまとめ、2 月末までに集まる。
- ・ 近畿との意見交換会を 3 月上旬までには実施する。※ 2/19(日)@鈴鹿で開催(後日決定)

【安全対応について】

- ・ セミナー等で徹底をしていくが、そのテキスト等を WEB サイトなどで公開して行く。
- ・ セミナー等 JMRC の取り組みについては草案をまとめる。

3 ラリー部会について

【部会員の役割分担について】

【役割】

部会長	： 香川	副部会長	： 船木
会計	： 高橋		
事務局長	： 鮫島	事務局	： 宮前、坂口
書記	： 田中	広報	： 松浦、安藤

【JMRC からシリーズ情報発信について】

- ・ 特規書等、JMRC の WEB サイトに掲載する公式文書は逐一各主催者から部会に送ってもらうよう主催者会議等で依頼する。
- ・ また、上記文書の集まりが悪いこともあり、各員で注意し、気付いたら主催者に提出するようアナウンスする。
- ・ 定点カメラの設置を、部会として各主催者に依頼する。
- ・ ポイント集計で所属しているクラブの地域コードをリザルトに記載してもらうように主催者にお願いする。

4 オールスターについて

【参加資格について】

- ・ 基本的には参加資格としては従来通りだが、なかなか皆が出たがらないのが問題。
- ・ 全日本半額券は、中部としては中部のラリーで健闘した選手に与えたいため、JMRC 中部ラリーへ参加実績のある中部クラブからの参加者とし、半額券の資格がない選手については、推薦時に明確に伝えるようにする。

【全日本半額券の考え方について】

- ・ 基本的にはラリー振興事業委員会で決定された内容に応じて与えられる。

【情報発信について】

- ・ 半額券の取得条件など、JMRC 全国ラリー振興事業委員会で決定された事項が周知公開されているか確認する。中部としても周知できるよう支援して行く。

5 ラリーセミナーについて

- ・ ラリー部会としてもセミナーは検討しており、タイアップしてやっていきたい。
- ・ 別途相談の場を持つようにする。

以上